

Makuhari's Memory

今後研修に参加する皆様へ ～研修を振り返って～

令和5年1月17日から1月27日までの11日間、「市町村税徴収事務③」研修を受講いたしました。感染症予防等の観点から不安の残るなかでの受講となりましたが、アカデミーの職員の皆様をはじめ、講師・食堂・警備の皆様のご尽力により、安心できる環境下で無事研修を終えることができ、心より感謝申し上げます。

入寮時に配布された名簿の中で自分の氏名の横に「代表幹事」の記載を発見した際には、相応の役職の先輩にあててほしいなと正直思いましたが、この寄稿を書きながら研修を振り返ることができましたし、代表幹事ってなにをするの？と声をかけてくれる受講生の方もいて、結果的にはいい経験となりました。

研修の有効性や、いかに充実したものであるかについては、他の寄稿で十分に記載されていますので私はあえて多くは語りません。ただ1つ今後研修に参加する皆様へアドバイスするのであれば、「他の受講生の皆様と存分に交流したほうが良い」これに尽きます。研修の充実度はこの1点により大きく変わってくるものと思います。私は初心者

ゆえ、あまり積極的に話しかけることができませんでした。今になってもっといろいろな方に話しかければよかったと少し後悔しています。今後研修を受ける皆様、勇気をもってたくさんの交流をしてください。相手も話しかけられるのを待っています！

最後に改めまして、講師の皆様、担当教授・主査、討議班の皆様、休憩中お話ししてくれた皆様、不在の間ご対応いただいた職場の皆様にご挨拶申し上げます。どうもありがとうございます。

岩手県盛岡市
納税課主事
〈受講研修科目〉
市町村税徴収事務
第36期第3組（令和4年度）

仲間と過ごした9日間

令和5年1月30日から2月7日までの9日間、「政策企画」研修に参加し、全国から集まった45名の仲間と共に大変有意義な時間を過ごしました。

参加前から、事前課題やレポートなどの準備があり、不安と期待を胸に当日を迎えました。滞在中は、朝から夕方まで講義やグループ討論があり、夜間と土日は自主研究を行いました。図書館などの施設が充実しており、学習や資料収集に役立ちました。他の研修生が真剣に課題に向き合っている姿にも大いに刺激を受けました。

私がこの研修で何より大切に感じたことは、グループ討議で全員の意見を尊重しながら理解し合おうと努める、合意形成までの過程（プロセス）です。完成した最終成果品は、全員が納得するものとなりました。

夜の部（交流会）では、酒類の販売に一部制限はありましたが、各自グラスを傾けながら、お国自慢や趣味の話など、活発な交流が行われました。普段は本音が言え

ないタイプの人、ここでは心を開き、打ち解けることができているようです。同じ思いを持っている者同士、自然と心が通い合うのだと思います。

また、電話1本、メール1通で全国の仲間と情報交換のできる関係性を構築できた事もすばらしい財産です。アカデミーでの刺激的な経験が、この先も生きていくと

感じています。同期の皆さん、ありがとうございました。

河原 功

公益財団法人
ふくしま自治研修センター
教務部主幹
〈受講研修科目〉
政策企画
第36期第1組（令和4年度）

